

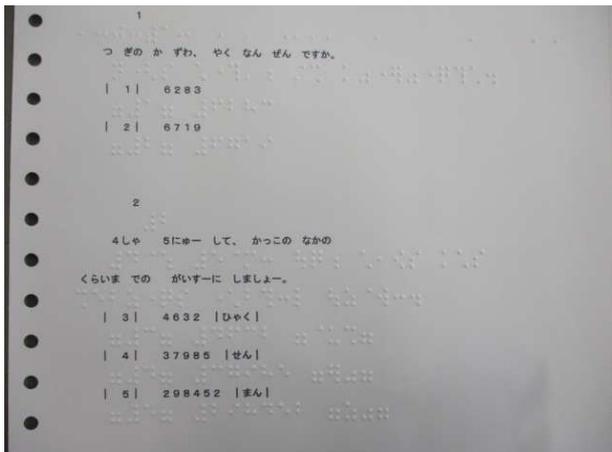
令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立浜松視覚特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input checked="" type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	27名

1. 使用状況

寄贈物品名	点字プリンター
使用学年及び人数	小学部児童7名、中学部生徒5名、高等部普通科5名、専攻科10名 職員室教員43名、寄宿舎職員10名
使用頻度	10回～15回/日
使用状況	<p>全盲の児童・生徒にとって、点字は文字を読むために重要な手段です。本校での学習においても、点字の活用は必須であり、点字プリンターの使用は欠かせません。</p> <p>教員は、教材作成のためにほぼ毎日、点字プリンターを使用しています。</p>
物品の使用による変化や効果 ※ 1年目との違いを含めご記入ください。	<p>本点字プリンターは、点字の上に墨字を印刷をすることが可能です。授業中に点字で作成したワークシート等を使う際、教師がすぐに児童・生徒に読んで欲しい箇所を伝えることができます。これにより、点字を使用する児童・生徒の授業効率の向上に寄与しています。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>現在は主に教師が教材作成のために点字プリンターを使用していますが、今後は児童・生徒も積極的に使用できるようにし、点字に接しやすい環境を整えていきたいと考えています。</p>
その他 希望や所感など	<p>本点字プリンターは、点字文字の印刷が可能ですが、地図の印刷や、理科や数学で図表の印刷などが可能な器機があると、今後の授業で児童・生徒の理解を高めることができると考えています。</p>

2. 活用の様子



本点字プリンターで印刷した、点字、墨字両方が印刷された資料。
点字使用者と、墨字使用者両方に分かりやすい資料を作成することが可能です。